

# 岐阜市立岐阜商業高等学校

校長 杉原茂男

学校住所 岐阜市鏡島南2丁目7番1号 TEL 058-251-0165

1 会議の名称 学校評議員会 (第1回)

2 会議の構成 委員 戸野部 正 八 鏡島自治会連合会会長  
竹本 康 史 岐阜聖徳学園大学教授  
川田 博 子 元PTA会長  
山内 義 孝 (株)サムソンフィクセル代表取締役

学校側 杉原 茂 男 校長  
加藤 芳 宣 事務長  
小野木 仁 孝 教頭  
林 美知尾 教務主任  
高木 秀 樹 生徒指導主事  
廣江 修 進路指導主事

3 会議の目的 地域社会との連携を一層深め、効果的で開かれた特色ある学校運営を推進する。

4 会議の開催 平成23年6月29日(水) 13時30分～15時40分  
岐阜市立岐阜商業高等学校 校長室  
委員4名と学校側6名が出席

## 5 会議の概要

### (1) 日程説明 (教頭)

ア 施設見学 13時40分～14時40分  
イ 学校側の説明、意見交換 14時50分～15時40分

### (2) 施設見学

ア 朋友館 (セミナーハウス)  
・昭和63年4月竣工  
・1階 玄関ホール、アリーナ、ステージ、更衣室、トイレ、器具庫、職員室、放送室  
・2階 談話コーナー、第1研修室、第2研修室、指導員室、浴室、トイレ、洗面所  
・3階 ホール、第3研修室、食堂、厨房、指導員室、浴室、洗面所

イ 体育館  
・平成11年3月竣工  
・1階 玄関ホール、事務室、機械室、ポンプ室  
・2階 卓球場、トレーニング室  
・3階 プール、機械室、職員室

## ウ 誠心館（格技場）

- ・昭和49年4月竣工
- ・1階 相撲場、部室、シャワー・浴室、トイレ
- ・2階 剣道場、部室

### (3) 意見交換

#### <校長あいさつ>

4月に新生を迎え平成23年度がスタートして、3ヶ月が経ちました。教育スローガンとして、「地域に愛され、地域に位置づけられる学校を目指す」、「生徒の個性にあった指導をし、一人一人の文武両道を目指す」を掲げて学校経営を行っている。各委員の方から忌憚のないご意見をいただき、新たな市岐商の教育活動を展開していきたいと思えます。

#### <学校評議員の感想及び意見>

- 意見1 「体育館の施設が素晴らしい。」  
「トレーニングルームや体育館屋上のプールには驚いた。」  
「昨年度からの改善点について聞かせてほしい。」
- 意見2 「プールは初めて見た。多くの充実した施設に驚いた。」  
「朋友館は、1年生の入学当初の宿泊研修にも利用しているということで、他の学校では実施できないようなことができる素晴らしい施設である。」  
「昨年度の課題に対してのその後の取り組みを聞かせてほしい。」
- 意見3 「今ある施設に対して生徒は利用できるのが当たり前で、施設そのものの存在に感謝して使用しているのか。そういった心が大切である。」  
「今までの反省点がどのように生かされているか。」  
「今どのような問題点があるか。」
- 意見4 「避難場所として市岐商の施設を見直していきたい。」  
「鏡島地区は危険場所が多い。実際に施設を見てみると、素晴らしい避難場所となる。自治会で話し合いたい。」  
「鏡島大橋の南側の路側帯の降り口がとても危険であり、自転車がかなりのスピードで下ってくる。また、車の間をすり抜けていくので大変危険である。」

#### <学校側から意見及び回答>

- 教務より
- ・「分かる授業」、「楽しい授業」を目指すためにTTによる分割授業を実施したり、全職員が必ず授業参観をしその後の意見交流を行い、自分の授業に生かすようにした。
  - ・生徒の個人情報（個人カルテ）を全職員が共有し、一人一人を大切にしたい個に応じた指導ができるシステムを整備した。
- 生徒指導より
- ・朝の校門指導により、ほとんどの生徒が毎日決まった時間に登校して来るので、生徒の定点観察をしている。
  - ・朝、学校の近くの交差点等に立つことにより、地域の様子も分かる。
  - ・交通事故がやや多くなっていると感じ、放送等で呼びかけている。
  - ・5月19日（木）に「命の大切さを学ぶ」講座で交通事故で次女を亡くされた方に講演してもらい、交通ルールを守る大切さについて学んだ。

- 進路指導より
- ・進路指導と商業科とタイアップして、3年間を見据えたキャリア教育計画を立案した。
  - ・卒業生を招いて職業人インタビュー（卒業生と語る会）を実施する予定である。
  - ・昨年度に比べて求人がかなり激減しそうである。

- 商業教育より
- ・外部講師による授業を計画的に実施している。
  - ・1年生の商業の基礎科目で分かる授業を展開するために、授業改善を目指して月に一回研究授業を実施している。
  - ・市民講座（日商簿記3級）では、定員20名のところ、65名の応募があり、抽選で24名を選んだ。教員が説明した後に、生徒が受講生に個別対応で教えており、生徒が一般の人に教えることで成長している。